



市民共同発電サンサンすいた

サンサンすいたの法人設立より1年が経ちました。皆様のご協力があってこそこの1号機完成、感慨深いです！本レターの制作を担当している今井です。暫くドイツに滞在しており、今回の点灯式へは参加が叶いませんでしたが、写真や参加者の発信を拝見し、和気あいあいとした雰囲気が伝わって来ました。また関心のある方々と見学させていただきたいところです。

いのこの里 市民共同発電所が稼働を開始！点灯式を開催しました

市民の皆さまの協力を得て、特別養護老人ホーム いのこの里の屋根上に設置した太陽光発電所は、3月下旬より稼働を開始しました。

4月12日の点灯式は、穏やかな天候に恵まれ、職員と入所者の方を含め約200名の参加でお祝いすることが出来ました。いのこの里職員とサンサンすいた会員による「ひまわりサン体操」でにぎやかに始まったオープニングがあり、その後、主催の社会福祉法人こばと会の正森理事長からの挨拶では、**福祉と環境との関わり**が強調されました。続いて、共同主催のサンサンすいたの井上代表理事からは実際に**施設や地域の方々とのつながり**ができた喜びが語られました。



社会福祉法人こばと会
正森理事長



いのちを守ることを柱に運営しているが、そのためには「地球を守ること」を抜きに考えられない。
温暖化のもとで災害が頻繁に起こり激甚化しているが、災害時の電力確保を考えた時、この発電所が具体的援助になる。

未来に残せるような
地球環境を守りたい！

という共通の思いを持つ多くの方と、いのこの里市民共同発電プロジェクトを通じてつながることができたのは、本当にうれしいことです！

サンサンすいた
井上代表理事



吹田市長からのお祝いのメッセージが読み上げられ、多くの来賓の紹介とともに、代表して元吹田市の環境審議会委員もされていて、サンサンすいたの立ち上げにもご協力していただいた、自然エネルギー市民の会代表の和田武さんから、ご挨拶を頂きました。大阪・吹田では、再エネの割合が小さいのが現状なので、取り組みを強めなければと思いました！（裏面に続く）

3月には屋上および施設内の見学会も

太陽光発電設備の工事が始まった翌日、3月9日にいのこの里工事見学会を開催し、会員をはじめ建設にご協力いただきたいのこの里関係者、職員のみなさんにご参加いただき、交流を深めました。

日本は本当に遅れている。
石炭輸出国オーストラリアも、
石炭から再エネに大きく転換した。
デンマークでは住宅の3軒のうち1軒に
太陽光発電設備が載っているが
日本では10軒に1軒だけ。

温暖化が一番困るのは次の世代だ。
こういった取り組みを地域主体で
広げていこう。

自然エネルギー市民の会
代表 和田武さん



点灯式報告続き

続いて、いのこの里市民共同発電建設にご協力いただいた多くの方のお名前を載せた、記念の額の贈呈式。
サンサンすいた会員の金子さん・宮井さんから、いのこの里施設長の山本さんに渡されました。



記念額には、建設協力金・寄付金等で支援いただいた皆さんの名前を記載しており、
今後は施設内に掲示いただける予定です

グレタ・トゥーンベリに触発されて、自分も何か行動しなければとの思いはあったが、
車を手放すことぐらいしかできていなかった。

1年前にサンサンすいたを知り、これなら協力できると参加した。まずは市民共同発電建設の協力者を求める手伝い。10万円の建設協力金はハードルが高いかと思いつつ友人に建設協力金の話をしてみると、思いもかけず「いいよ」との返事。今まで気候変動を話したこともないにもかかわらず即答。寄附金の方も、「記念額に名前が載る」というのが効果的だったようで、声掛けした3人が皆賛同。

気候変動と脱炭素、太陽光パネルの関係を説明すれば、案外協力しようという人がみつかるものだ。皮肉なことに昨今の猛暑・集中豪雨が後押しをしてくれたのかもしれないが。

今回の点灯式を迎えることができたときには、素直にうれしかった。
これからの2号機設置に向け大いに励まされた。

金子 泰純さん◆正会員

多くの方のご協力で、いのこの里に市民共同発電が実現しました。
ここからが、スタートです。サンサンすいたの皆さんと一緒に、気候問題についても今後も取り組んでいきたいです。

市民共同発電所の電気を使っての手作りランプへの点灯が、入所者の方と職員の方によって行われました。多くの方に見守られ、カウントダウンをし、点灯と同時に拍手を頂き、無事、いのこの里に市民共同発電が実現したことを、共に喜び合うことができた瞬間でした！



いのこの里の職員さん・育てる会の皆さん・地域の方々のご厚意とご協力で実現したお餅つき！参加者の中には、お餅つきを見るのは久しぶりという方も多くおられたのではないのでしょうか。

お餅つきを見て、ぜんざいを食べて歓談しながら、グループに分かれて順番に、屋上の太陽光発電設備の見学もしました。

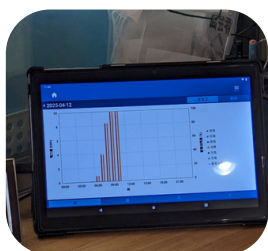
終わりは、正森理事長と岩本さんによるギター演奏をバックに「あたりまえの地球」を皆で歌いました。

自然にあふれた美しいあたりまえの地球を守っていくためにも、**市民の力で、地域のコミュニティとともに、市民共同発電を広げていきたい**という思いを新たにしました！



出来上がったお餅をこんがり焼いたぜんざいは、本当に絶品でした！

いのこの里市民共同発電所 発電実績報告



3月19日から稼働を開始したいのこの里市民共同発電所の発電実績を今後のニュースレターでお届けします。

いのこの里の1階事務所前にモニターを設置し、発電所の発電量をグラフや数値で確認できるようになっており、職員・入所者の方々にも太陽光発電による節電効果を実感していただければと思っています。

3/19~4/18の1か月間



発電した電気
1,858 kWh

効率の良い電気自動車(6km/1kWh)
だと地球を **約3分の1周**
走ることが出来ます！